

【Foodie】 食べ物の撮影に特化したフード専用カメラアプリ「Foodie」を公開

2016.02.16 LINE

24種類の「食べ物フィルター」や“真上撮り”をサポートする「ベストアングル機能」など

充実の加工機能で魅力的な食べ物写真の撮影が可能

LINE株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：出澤 剛）は、同社が運営するコミュニケーションアプリ「LINE（ライン）」 <http://line.me> の周辺サービスとして、食べ物の撮影に特化したフード専用カメラアプリ「Foodie（フーディ）」（iPhone・Android対応／無料）を公開いたしましたのでお知らせいたします。



「Foodie」は、これまでに世界累計1億ダウンロードを突破した”自撮り”専用カメラアプリ「B612」に続き、新たに提供を開始する特化型カメラアプリです。「肉料理」「お寿司」「ケーキ」など様々なジャンルの食べ物を魅力的に加工してくれる24種類の「食べ物フィルター」や、グルメ情報誌などで見られる”真上撮り”（真上のアングルからの写真撮影）が簡単にできるよう、カメラが水平になっているかどうかを色でお知らせする「ベストアングル」機能など、魅力的な食べ物写真を撮るための機能を豊富に搭載しています。

さらに、まるで一眼レフカメラで撮影したかのような写真が撮れる「アウトフォーカス機能」や、暗い場所での撮影も可能にする「明るさ調整機能」「トーチ機能」など加工オプションも充実しています。また、Instagram・TwitterといったSNSへの「共有機能」などカメラアプリとしてのベーシック機能も備えております。

「Foodie」は、今後もフィルターやエフェクトなど食べ物の撮影に特化した機能を提供し、コミュニケーションの活性化を目指してまいります。

【Foodie（フーディ）の主要機能】

1.食べ物が魅力的に変身する「食べ物フィルター」

食べ物の撮影に最適化された24種類のフィルターを使って、自分好みの食べ物写真を撮ることが可能です。

2.“真上撮り”をサポートしてくれる「ベストアングル機能」

卓上の食べ物に対してカメラが0°の水平になっているかどうかを色で知らせてくれるので、簡単に“真上撮り”をすることができます。

3.プロのような仕上がりを実現する「アウトフォーカス機能」

自動的に被写体を認識し食べ物以外の部分にぼかしをかけることで、まるで一眼レフカメラで撮影したかのような写真に仕上げます。

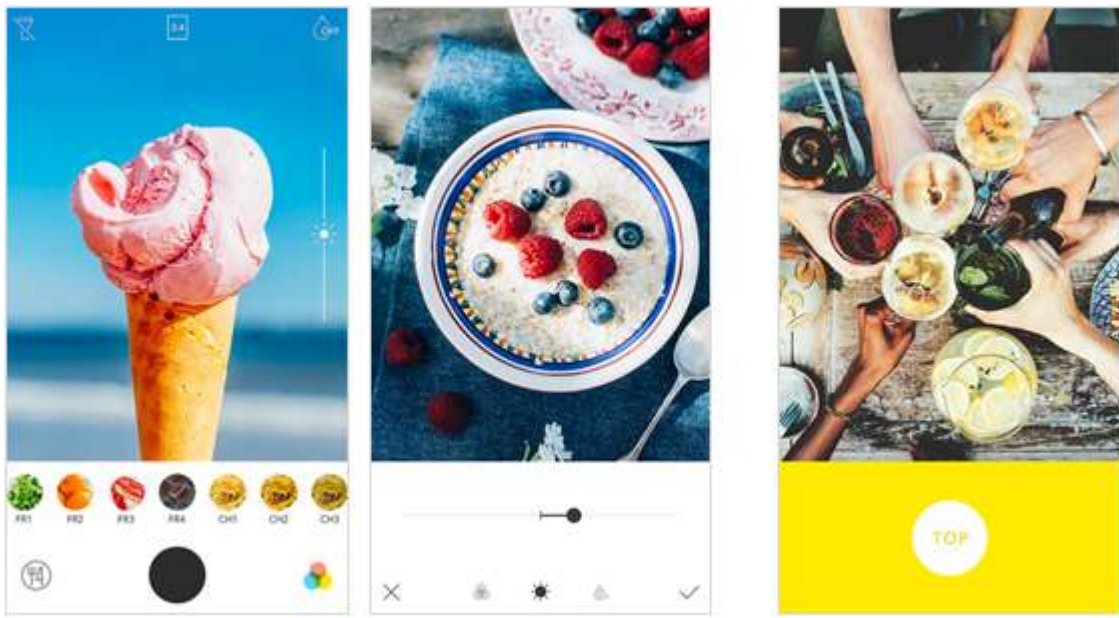
4.暗い場所でも撮影も可能にする「明るさ調整機能」「トーチ機能」

写真を撮影する際に、手で写真を明るくしたり暗くしたりすることができます。また、ライトを常時点灯させることもできるので暗い場所での撮影も可能です。※明るさは40段階（-2.0～+2.0）での調整が可能です。

5.多様なサービスでの「共有機能」

加工した写真は、LINEはもちろん、facebook、Twitter、Instagramなどで共有する事ができます。

【食べ物フィルターや明るさ調整で魅力的な写真に加工】 【ベストアングル機能で“真上撮り”をサポート】



< 概要 >

アプリ名称：Foodie

対応端末：iPhone／Android

対応言語：日本語・英語・インドネシア語・韓国語・中国語（簡体字・繁体字）・スペイン語・タイ語・ロシア語

サービス地域：全世界

サービス開始日：2016年2月2日

価格：無料

開発・運営：LINE株式会社

著作権表記：©LINE Corporation

ダウンロード：

App Store <https://itunes.apple.com/jp/app/foodie-shibe-wuno-cuo-yingni/id1076859004?mt=8>

Google Play <https://play.google.com/store/apps/details?id=com.linecorp.foodcam.android&hl=ja>
